

オオキンケイギク

分類: 合弁花類、キク科、ハルシャギク属

学名: *Coreopsis lanceolata*

英名: Lance-leaved tickseed

和名: オオキンケイギク

別名・流通名: ハルシャギク属の学名であるコレオプシスで流通するものには、本種以外も含まれる。

原産地と分布: 北アメリカ(ミシガン~フロリダ、ニューメキシコ)原産である。

未判定外来生物: なし。

種類名証明書添付生物: ハルシャギク属全種(約120種)

形態的特徴:

花: 開花期は5-7月。頭状花は直径5-7cm、舌状花は黄燈色で花冠の先は不同に4-5裂する。筒状花も同じ色で花床に細長い鱗片がある。総苞片は2列につく。

茎: 高さ30-70cmで、束生する。

葉: 茎葉は対生または時に一部互生し、狭倒披針形。根生葉は花時にも残り、長い柄があり、3-5小葉に分裂する。両面とも粗い毛がある。



特記事項: ワイルドフラワー緑化で多用され、路傍、河川敷、線路際、海岸などで野生化した。開花期は5~7月。ハルシャギク属では、本種以外にキンケイギク *C. drummondii*、ハルシャギク *C. tinctoria* が野生化しているほか、観賞用に育成された様々な園芸品種が流通している。